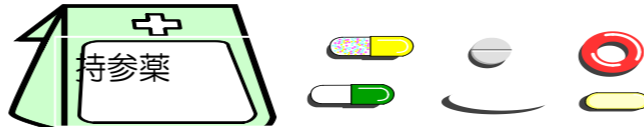




No.174 大腿骨近位部骨折 骨接合の手術を受ける患者様へ(入院2週間)①

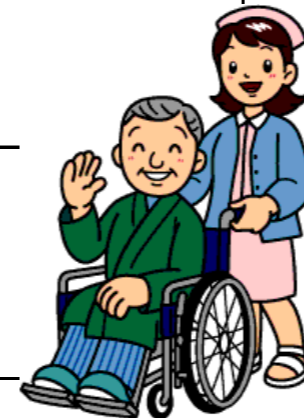
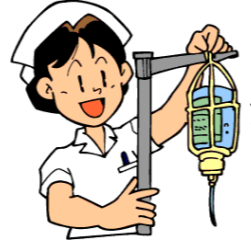
ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	／	／	／	／	
経過	入院日	入院1日目～手術2日前まで	手術前日	手術当日(術前)	
目標	手術の不安が最小限である				
処置 治療	<ul style="list-style-type: none"> 入院の日は多くの処置が入ります。 骨折した足が良い位置になる様に牽引という治療をすることがあります(手術まで安静にするため、および痛みを和らげるために行います) 痛みや動ける範囲によって排泄のため尿道に管を入れる事があります。 血栓予防の為、両足に弾性ストッキング着用と両足に器械(フットポンプ)を装着します。毎日1回 弾性ストッキングの着脱を行います。 痛みが強い時は、坐薬や飲み薬を使います。看護師までお知らせ下さい。 以前より使用している薬を薬剤師または看護師にお知らせ下さい。(目薬や貼り薬・塗り薬も教えて下さい。) 抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいた場合は、手術のため中止します。 <div style="text-align: center;">  </div>		<ul style="list-style-type: none"> 就寝前、麻酔科医師の指示により飲み薬の出ることがあります。 眠れそうにない時には夜9時までに看護師にお知らせ下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> 朝から点滴を行いません。 血圧など必要な薬を飲む場合は医師より指示があります。 麻酔科医師の指示により飲み薬が出ることがあります。 手術する方の足に印を付けます。
検査 測定	<ul style="list-style-type: none"> 必要に合わせて 他の診療科の診察を入れます。 今まで掛かっていた診療科や予約がある時は、看護師にお知らせ下さい。 毎日の14:00前後で熱や脈拍などの測定を行いません。 				
入院生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事は病室に配膳します。()食です。 治療食の必要な方は適宜変更します。 		<ul style="list-style-type: none"> 夜9時以降 食事・水分はとれません。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝から食事・水分はとれません。
	清潔	<ul style="list-style-type: none"> 排便はベッド上で便器を使用するか、オムツを使用します。使用方法については看護師より説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 背中や全身の状態を見るためにベッド上で体を拭きます。 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上で寝たままで 髪を洗います。 ベッド上で寝たままで、体を拭きます。看護師がお手伝いします。 マニキュアも落します。
	活動 リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 入院後はベッド上の安静になります。 ベッド上での活動は説明のあった範囲でお願いします。 臥床する事で床ずれがでやすくなります。 定期的に体の位置を直します。 自分自身でも動ける範囲で体の位置を変えましょう。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>リハビリについて</p> <p>☆普段からの運動が大切です。 腰上げ運動や 良い方の足の曲げ伸ばしをしましょう。 障害の無い部分の筋肉まで衰えてしまうのを防ぎましょう。</p> <p>☆ベッド上で動かないことで 『深部静脈血栓症』や『肺塞栓』 という合併症を引き起こす恐れがあります。</p> </div>			
説明	<p>入院日 または 翌日に、医師(主治医)より治療方針についての説明があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当医より手術の説明があります。 麻酔科医より麻酔の説明があります。 看護師より入院時オリエンテーションやクリティカルパスの説明があります。 手術同意書を看護師に渡してください。 必要時、薬剤師が病室に伺います。 退院または転院に向けての日程の調整を行いません。 		<ul style="list-style-type: none"> リハビリについて理学療法士より説明があります。 	<p>今後の方針について、ご家族で話し合いましょう。</p> <p>今後、自宅に帰る際の自宅の整備について、看護師にご相談下さい。 自宅への退院が困難と思われる場合も、看護師にご相談下さい。 ※当院から転院後、その先々の退院先のことも、ご家族で話し合ってください。</p>	

No.174 大腿骨近位部骨折 骨接合の手術を受ける患者様へ(入院2週間)②



ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	/ /		/ /		/ /		/ /		
経過	手術日(手術後)		手術1日目		手術2日目		手術3日目		
目標	手術後の経過に問題がない(バイタルサインが安定し、合併症が起こらない)		車椅子への移動が出来るようになる。		手術4日目		手術5~6日目		
治療	<p>手術後は、病室に戻ってきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスク : 午前手術の場合当日夕方まで 午後手術の場合翌朝まで付けておきます ・点滴 : 翌日夕方まで続けて行ないます。 ・痛み止めは、点滴から持続的に入るものを使用します。痛みが強い時に、痛み止めを追加投与できるボタンが付いています。使い方は看護師が説明します。 ・それでも痛みが強い時は、坐薬や注射、飲み薬などの痛み止めを使用します。看護師に声を掛けて下さい。 ・尿道の管が入ってきます。 		<p>手術後の消毒は基本的に必要最小限となります。これは空気中の細菌感染から傷を守るためです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝と夕方に抗生剤の点滴を行ないます。 ・痛みが続く時には、痛み止めの飲み薬を使用します。 ・夜間眠れない時には、入眠導入剤をお出します。 		<p>医師の指示のもとに、抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいただいていた方の薬の再開します。</p>				
検査測定	<ul style="list-style-type: none"> ・帰室直後より何度か(夜中も)体温・脈・血圧などの測定を行ないます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝食前に採血を行ないます。貧血の程度を見る検査です。 		<ul style="list-style-type: none"> ・早ければ尿道の管を抜きます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・足に装着している器械(フットポンプ)を外します。 		
入院生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後も禁食です。 ・飲水は医師の指示が出てから可能となります。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝から食事が始まります。 					
	清潔			<ul style="list-style-type: none"> ・体を拭いたり、寝巻きを着替えたり、日常の身の回りのお手伝いをします。トイレなどに行く時はナースコールで看護師に連絡して下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・夜間は足元が危ないのでしばらくはベッドサイドに簡易トイレをおきます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・傷口を防水テープで保護してシャワーに入れます。 	
	活動 リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上で寝たまま安静となります。体の向きを変えるときなどは看護師がお手伝いします。 		<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の時からベッドの頭側を90度まで上げる事が出来ます。 		<ul style="list-style-type: none"> ・本日より、リハビリはリハビリテーションセンターで行ないます。 ・センターでは起立歩行の訓練を行ないます。 		<p>本日より、病棟でも歩行器を使用して歩いてみましょう</p> <p>転倒に注意しながら、ゆっくり歩行練習をしましょう。</p>	
説明	<p>ご家族の方へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術後、医師より手術について説明をいたします。 ・術中・術後は連絡が取れるようにしてください。 ・手術中は原則、手術室の控え室か病棟でお待ち下さい。 								



No.174 大腿骨近位部骨折 骨接合の手術を受ける患者様へ(入院2週間)③

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	/ ~ /	/ ~ /	/	/ ~ /
経過	手術8~9日目	手術10~12日目	手術13日目	手術14日目
目標	病棟の中で歩行器または杖を使用し、起立歩行が出来るようになる。			退院 または 転院
処置 治療	<ul style="list-style-type: none"> 退院またに向けて、最終的な日程の調整を行ないます。 ご家族の方の予定などを教えて下さい。 			<ul style="list-style-type: none"> 退院の際の、必要とする薬などの希望のある時は、看護師にお話下さい。 術後14日以降、傷口のガーゼを外します。
検査 測定				<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血を行ないます。 レントゲン撮影があります。
入院生活	食事			
	清潔			
	活動 リハビリ	杖を使って、歩いてみましょう		
説明	ご家族の方へ リハビリ時間と都合を合わせて、リハビリでの様子を是非ご覧下さい。 リハビリの時間については、看護師にご確認下さい。			医師より退院(転院)前の説明をします。 ☆次回外来受診：あり (↓転院先の退院が決まりましたら、当院の外来受診予約をしてください) ☆次回外来受診日： 月 日 () 時 分～ ☆診察前のレントゲン：あり ・退院(転院)前までに 薬剤師より必要な薬についての説明をします。 ・退院(転院)前までに 理学療法士よりリハビリについて説明をします。 退院(転院)に際して、気になる事があったら、医師・看護師・理学療法士・薬剤師などにお尋ね下さい。 担当者から、説明させていただきます。

大腿骨近位部骨折は、日常生活に大きく影響を与えます。

退院の目標は、『元通りに動けるようになる事』ではなく『元通りに少しでも近づく事が出来る』です。

年齢とともに、以前と同じ生活は 難しくなるでしょう。
 しかし、寝たきりにならないように、今後ともマイペースで、元の生活に近づくように頑張ってください。

食事は、バランスよく。
 カルシウムの摂取を心がけ、可能ならば日光浴をするなどして、寝たきりにならない努力をしましょう。

どうしても、以前より転びやすくなります。
 杖や、手押し車などを使い、安全に動く工夫をしましょう。

自宅の中 特に お風呂場・トイレ・階段などは安全に動けるようになっていませんか？
 必要に合わせて、自宅の環境を整えましょう。

